

平成 29 年度 第 1 回磐田市廃棄物減量化等推進審議会 会議録

【日 時】 平成 29 年 7 月 24 日（月）午前 10 時 00 分～

【会 場】 磐田市クリーンセンター 研修室

【出席者】 会 長 川島 あつ江（今回選出）
副会長 杉浦 聖（今回選出）
委 員 藤田 允 玉田 文江
稲垣 幸子 今泉 佳代
宮地 浩 清野 英明
伊藤 慎弥 鈴木 正人
村岡 ジョルジ 川合 秀実
鎌田 俊巳 寺本 勝児
順不同（14名出席）

（欠 席 菊池 潤一）

【事務局】 環境水道部長、ごみ対策課長、ごみ対策課長補佐、
ごみ対策課主幹、審議会担当職員 2 名

【会議概要】

1. 開会
2. 委嘱状交付
3. 環境水道部長挨拶
4. 議題
 - （1）役員の選出
 - （2）審議会の役割について
 - （3）本市のごみ排出量の現状について
 - （4）今年度の主な取り組み内容について
 - （5）その他報告事項
5. 閉会

【意見・質疑の主な内容】

1. 開会

事務局	こんにちは。磐田市ごみ対策課長の寺田でございます。よろしくお願いいたします。本日はお忙しい中お集まりいただきまして誠にありがとうございます。また、日頃のごみの減量施策の推進にご理解とご協力を賜りまして厚くお礼申し上げます。それでは、ただいまより平成29年度第1回磐田市廃棄物減量化等推進審議会を開催させていただきます。
-----	---

2. 委嘱状交付

事務局	初めに、所属する団体の役員変更等の理由により、府川委員と虫生委員から辞職の申し出がありました。それぞれ後任をご指名いただいておりますので、環境水道部長より委嘱状を交付いたします。なお、2名の任期は、規約第12条4項により、前任者の在任期間は平成30年6月30日までとなります。
-----	--

3. 環境水道部長挨拶

環境水道部長	皆様、改めましてこんにちは。7月10日に辞令をいただき環境水道部長になりました松下享と申します。よろしくお願いいたします。7年前は担当の係長として、事務局におりました。当時は丁度このクリーンセンターを作っておりまして、ごみの収集区分の変更をしたり、プラスチック製容器包装の品質が悪いことなどを当時の審議委員のみなさんの知恵をおかりしてなんとかいい方法はないかのご意見いただく中で今の制度になったと認識しております。今回のみなさんにつきましても貴重なご意見いただきまして、より良いごみ行政を担っていければと思います。本日はお忙しい中、お集まりいただき誠にありがとうございます。当時を思い出しまして一生懸命頑張りますので、今後ともよろしくお願いいたします。
--------	--

4. 審議の進行

事務局	審議会の進行については、磐田市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例施行規則第25条第1項により、会長が議長となりますが、会
-----	---

長の府川委員が辞任されましたので、同規則第 24 条第 3 項により会長が決定するまで川島副会長が議長となります。川島副会長よろしく申し上げます。

4. 議題

(1) 役員の選出

議長 それでは議事の進行をさせていただきます。まず、磐田市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例施行規則第 25 条第 2 項によりまして、委員の半数以上が出席しておりますので、本会議が有効に成立していることを、ここでご報告申し上げます。それではお手元の次第にしたがいまして、会議を進めてまいります。まず、会長の府川委員の辞任に伴い、会長の選出を行いたいと思います。議題（1）役員の選出については、事務局に進行をまかせたいと思いますがよろしいでしょうか。

委員 <<異議なし>>

議長 では、事務局よろしく申し上げます。

事務局 事務局でお預かりさせていただきます。会長の選任につきましては、磐田市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例施行規則第 24 条第 1 項に委員の互選により定めると規定されておりますので、みなさんのご意見をお伺いしたいと思います。いかがでしょうか。

委員 <<意見なし>>

事務局 ご意見がないようでしたら、事務局から会長、副会長の人選についてご提案させていただきたいと思いますがよろしいでしょうか。

委員 <<異議なし>>

事務局 それでは、ご提案させていただきます。会長には、現在副会長をつとめられておりますいわた消費者協会の川島あつ江委員に、副会長については、市民に身近な組織である磐田市自治連合会から選出されております杉浦聖委員にお願いしたいと考えますが、いかがでしょうか。

委員 <<異議なし>>

事務局 ご異議がないようですので、会長には川島あつ江委員に、副会長には

杉浦聖委員にお願いいたします。

会長 ただいま会長に選出されました川島と申します。よろしくお願ひいたします。みなさまのご協力とご指導お願ひしまして努めさせていただきたいと思ひます。

副会長 副会長に選任されました杉浦と申します。審議会が円滑に進みますよう、会長を補佐してまいりたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。

事務局 ありがとうございます。それでは、審議会の進行につきましては議長にお返しいたします。

会長 それでは次第にしたがいまして議事を進めます。本日、ご審議いただく案件ですが、お手元に配布してございます次第のとおりとなっております。よろしくお願ひいたします。

(2) 廃棄物減量化等推進審議会の役割について

(3) 本市のごみ排出量の現状について

(4) 今年度の主な取り組み内容について

(5) その他報告事項

《(2)～(5)を事務局より一括して説明》

会長 ただいまの説明につきまして、ご意見や質問がありましたらお願ひします。

委員 スプレー缶の出し方が変わり私達にとって楽になったが、それによって市にかかる費用はどれくらい増えていますか？

事務局 スプレー缶の費用についてですが、まだ開始して3カ月の段階ですが、おおよそ年間で37万トンの回収見込みで、費用は680万円を見込んでいます。しかしあくまで想定で、現状3カ月の実績からいくとかなり下回っているため、そこまではかからないと思ひます。

委員 ごみ排出困難者の調査を視察にいかれて準備されていると思ひますが、実施に向けた現状を教えてください。

事務局 昨年度、先進地を視察させてもらひ現状を見させてもらひました。今年度主に取り組むのは、排出困難者は高齢化が進むと増えるといわれているなかで、実際に磐田市内にどれくらいの困難者がいるか現状を把握していないことが課題であるため、福祉セクションにご協力いた

だいて排出困難者と想定される人数がどれくらいいるのかをつかみたいと思います。それと同時に民間の専門業者に任意でご協力いただいてデータの提供依頼をしています。その中で排出困難といわれる人にごみの処理を頼まれることがここ数年増えているのか横ばいなのか、現状把握をしていきます。具体的な数が把握できたら、その規模にあった回収の方法を、先進地を参考にしながら選んでいきたいと考えております。

委員 7 ページのインクカートリッジ里帰りプロジェクトについてですが、いそじ会では、牛乳パックや食品トレイと同じように、買ったものは買ったところに返そうという合言葉でやっています。インクを買うお店によっては回収箱があったり、使用済みのものを持ってきた場合値引きしてくれるお店もあります。リサイクルに出さずにごみとして排出される現状があるのかどうか教えてください。

事務局 このプロジェクトはインクを作っているメーカーからご案内いただいたものです。ご指摘のとおり本来は店頭回収してもらうのが一番だと思っておりますが、実際はそこまで行かれる方もなかなかいらっしゃらなくて、排出方法として市では可燃ごみとして案内しています。資源化を進めていくため、今回1箇所だけ回収ボックスを設置し、状況を見て広げていくべきなのか検討していきたいと思っております。

委員 スプレー缶の処理費を年間 680 万円見込んでいるということで、これまでのごみ全体の処理費用に足されるということになると思いますが、どのようにお考えですか。

事務局 費用につきましては、事故が発生したことをもとに考えているため 680 万円は高額ではありますが、万が一の事故を防ぎ市民に安心して出していただく費用としてはやむを得ないと考えております。

委員 生ごみ堆肥化容器の設置についてですが、平成 28 年度は 68 件申請があり、設置基数 87 基ということで伺いましたが、これはかなり普及しているからこの程度の設置基数なのか、あるいはその段階にあるのか、どちらになりますか。普及すれば生ごみがかなり減少するのではないかと思います。今の現状を教えてください。

事務局 生ごみの堆肥化容器の助成につきましては以前からおこなっています。以前は電動式の物も対象でしたが、現在は、電動でないコンポストを対象としています。年によっては申請が多い時、少ない時があり、平成 28 年度はここ 3~4 年の中では一番多い実績でした。ただ、すで

に定着しているものであるため、急激にここから申請数や設置台数が増えることなどは考えにくいと思いますが、減量化のため継続していきたい事業であると考えています。

補足ですが、平成 27 年度は 44 件 54 基で 30 基くらい増えています。生ごみは大半が水分ということもありまして、燃えるごみの減量効果が大きいです。かなり定着もしてきているので、急激な増加はないと思いますが伸びてきている現状もあります。

委員 排出困難者についてですが、シニアクラブという組織は国・県・市から助成金を受け活動しています。シニアクラブは多くの人数がいるが、現在加入している人は 6.5 割～7 割ほどです。シニアクラブに入っている人たちは、ごみ出しなど協力して行っています。しかし、シニアクラブに入っていない人は、困っているのではないかとお話があります。ぜひシニアクラブに入って協力してみんなで楽しく生きたいのですが、入らない人がいるのが現状です。以前私にお話しがあったことですが、足を折ってしまい 2 週間ベッドにいた方がいました。その中で一番困ったことは生ごみの処理だそうです。市に連絡したところ、すぐに来ることはできないようでした。助けてくれるような組織ができると大変いいと思いました。

事務局 そういった組織にご協力いただくのも一つの方法ですし、安定して継続可能な制度を考えていきたいと思います。また、詳しいお話をお聞かせいただく時があると思いますのでよろしくお願いいたします。

補足で、ごみを取りに行く制度はありますが予約制であるため、10 日後まで予約が入ってしまっていました。市が、もう少し細かく情報を聞き、より良い情報を提供し案内をできるように努めていきます。

委員 イベント等の啓発活動の実施ということで軽トラ市に出展いただきましてありがとうございます。平成 28 年度実績で実施回数 50 回で参加人数が 3,159 人とありますが、軽トラ市にどれくらいの方がいらっしゃったか人数を教えてくださいませんか。

事務局 昨年参加していただきさせた軽トラ市ですが、水切りと雑がみ袋を実践し、お配りしながら啓発しました。おおむね 200 人の人が訪れてくれたと思います。

委員 先進自治体への視察ですが、視察は毎年いっていますか。また、7、8 年前に議員として視察に行った記憶がありますが、現在は職員だけで

行っていますか。

事務局 視察の関係ですが、毎年行ってはいません。昨年御殿場市に行ったときもいくつかの項目をまとめて視察させていただきました。今回の排出困難者の件も自治体職員の方に話を伺いに、現地を見させてもらいながら行きたいと考えております。また委員の方もご一緒にできるような視察があれば、内容によって検討していきたいと思っております。

委員 乾電池・蛍光管をリサイクルステーションで回収するとのことですが最近リサイクルステーションに捨てに来たときに知っていれば持ってきたかと思っておりますが、7月から回収開始ということで、知らない人も多いと思っておりますが告知など行っていましたか。

事務局 リサイクルステーションの回収物の追加ですが、年度初めの回収追加項目であれば、ガイドブックやカレンダーで周知できたのですが、年度途中の試行でしたので、周知していませんでした。今後出していく印刷物で少しずつ周知を図っていきたくと考えています。出来るだけ便利に利用していただくようにご案内をしていきたいと思っております。

委員 昨年は焼津市のリサイクルステーションの紹介をさせていただいたのですが、たまたま川崎市に行く機会があつてごみ置き場を見てきましたが、ミックスペーパーの回収日がありました。紙資源の回収の曜日があり、磐田市だと資源回収の日をわざわざ選んで行かなければいけません。毎週回収日があるほうが、紙を資源として頻繁に出してくれるのではないのかと思っております。ごみ集積所の貼り紙の写真を撮ってきたのでお渡しします。

事務局 昨年も焼津市をご紹介いただきましてありがとうございます。古紙の定期収集は平成 25 年度で終了してはいますが、ミックスペーパー等の回収方法も検討課題でありますので今後考えさせていただきたいと思っております。

委員 イベント等啓発活動についてですが、今後の出展予定やどのようなイベントに出展したいなど活動予定はありますか。

事務局 毎回イベントのチラシを持ってきていただきありがとうございます。私たちは市民がメインで訪れるイベントに出展したいと考えています。またイベントの主旨になじまない場合は少し遠慮させていただこうと思っております。昨年もいくつか行かせていただきましたが、違和感なくごみに関する啓発が行えるイベントを選んで効果的に行って

いきたいと考えています。また情報ありましたらご提供いただけると助かります。

委員 補助金の生ごみ堆肥化についてですが、コンポストは補助金をだすことも必要だと思いますが、それ以上に、その後の管理方法などの知識が必要だと思います。また龍山村で以前生ごみ処理容器を無料で配付し、ごみを減らす対策をしていたような記憶がありますがご存知ですか。

事務局 管理の仕方については、非常に難しいとご意見いただきます。以前段ボールコンポストに取り組もうと行っていたのですが、普通のコンポスト以上に管理が難しく長続きしないということがありました。昨年は、補助金の申請をしていただいた方にご利用状況のアンケートをさせていただきました。うまく堆肥できるような方法を一緒にご案内していければと思っているのでぜひ参考にしたいと思っています。龍山村については、承知はしていませんが、浜松市などに伺って参考にしていきたいと思っています。

委員 ごみ分別アプリの利用者が現在約 6,000 人ということで、外国人の利用の内訳があれば教えてください。

事務局 ごみ分別アプリの内訳ですが、機械によっての内訳はできるが、見た人が外国人の方なのかという内訳はわかりません。

委員 イベント等での啓発についてですが、インターナショナルフォーラムは引き続き出てほしいと思います。どうしても分別の仕方やリサイクルの仕方は疑問点がありますが、外国の方が日頃わからないことを話すことができていると思います。以前ポルトガル語のガイドブックをわからない人に貸し、かなり活用しました。磐田は転入してくる外国人が多く分別の仕方がよくわかっていないので、引き続きイベントなどで啓発してほしいと思います。

事務局 外国人向けのイベントの参加ですが、昨年インターナショナルフォーラムに参加させていただきまして、非常に多くの人に話を聞いていただき、効果も感じる事ができました。引き続き積極的に参加していきたいと考えています。ガイドブック活用いただきまして誠にありがとうございます。ガイドブックに対するご意見があれば、何年かに 1 回しか改定はできませんがご意見いただければ助かります。

委員 小学生対象に施設の見学を行っていることについて、市内にブラジル

学校は1校しかないですが、施設の見学をしていますか。

事務局 市内の小学校4年生はすべて来ていますが、ブラジル人学校の施設見学はないようです。ご希望があればごみ対策課にご連絡いただければ対応できますのでよろしくお願いいたします。

委員 昔、芹澤式の生ごみ処理機を使用していました。川根町にある芹澤微生物研究所の菌が非常に強かったです。食品は煮てしまえば腐らないため、芹澤式の発酵機は煮続けるような発酵機で、非常に良い微生物を作っていました。生ごみの排出量を減らすために住民に配布していました。中止になった原因は、生ごみ処理機になんでも入れてしまい漬物のように人間が手を加えなかったり、生ごみ処理機に腐らないものを入れてしまい上手くいかなかったためです。堆肥をつくる場合、生ごみは通常85%が水分で、コンポストで利用する場合60~70%くらいにしなければいけません。腐敗・発酵は紙一重であるため利用者への啓発活動が必要です。

事務局 補助申請のあった方には、使い方のご案内等していきたいと思いません。

委員 資料2のごみ排出量43,395トンについてですが、事業系ごみは含まれていますか。

事務局 はい、含んでいます。

委員 環境省が出している平成27年度のデータでは全国平均が932gで磐田市は比べると75%ほど、つまり全国平均に比べると磐田市は25%減くらいですね。人口によってランキングは違いますが、掛川市は618g全国2位に入っています。限りなく磐田の数字はこれに近いため評価することができます。

事務局 環境省の実態調査の結果ですが、こちらに出ている数字と計算の仕方が若干違うため、ずれがあります。ただ、全国233自治体のうちの14番目が磐田市の数値です。全国的に見て排出量が少ない位置にあるのは間違いございません。

委員 ごみ処理経費はどれくらいかかっていますかと以前質問したところ、広報でごみ処理の現状で費用掲載されていました。経費がどれくらいかかっているかは市民に対するインパクトとして印象に残るのではないかと思います。

事務局 ごみ処理費用についてですが、以前の会議の時もお話伺いして
いて、今年度の印刷物など掲載予定がありますので、市民に対して具
体的な数字を伝えていければよいと考えています。

委員 クリーンセンターで発電を行っていると思いますが1,000件分とい
うのは、発電し売却している量か、発電している量全体なのかどちらで
しょうか。

事務局 発電している全体量が、約1,000件分ということです。

委員 埋立ごみの排出量が25年から26年にかけて大きく減っていること
についてスラグ化の成果ですか。

事務局 平成26年に分別変更を行って、今まで破碎をして埋立を行って
いたものを焼却することにより、埋立ごみが減ったということが要因で
す。

委員 啓発DVDを見て、資源ごみやリサイクルを増やすことと、埋立ご
みで埋立スペースがあまりないことが磐田市にとって課題だと思います
がどうでしょうか。

事務局 磐田市の一般廃棄物の最終処分場にも使用期限があり、ごみの減
量を図らないとすぐに一杯になってしまうので、ごみ減量のために啓
発を行っていきたいと思います。

委員 啓発DVDを学校などに活用して、行政に役立てることができると
思います。また、学校に活用すれば家庭にも広めていけると
思います。

事務局 現在ですが、小学校4年生の施設見学で雑がみの回収袋をお配
りしています。家に持ち帰り、家庭で雑がみを出してもらうことで広
めていくことがねらいです。

委員 使用済みスプレー缶の処理についてルールは守られていますか。ま
た、埼玉にもっていくことについて課題などありますか。

事務局 スプレー缶については特に問題はありません。埼玉県にしか処
理できる工場がないため依頼していますが、運搬や処理にも問題はあ
りません。

議長 その他、ご意見、ご質問はございますか。

委員 | <<意見・質問なし>>

議長 | 無いようですので、これにて質疑を打ち切ります。

5. 閉会

会長 | 以上で、本日の審議はすべて終了いたしました。本日は熱心なご審議をいただき、誠にありがとうございました。それでは事務局にお返しします。

事務局 | 皆様、ありがとうございました。審議内容についてご意見・ご提案事項がありましたらお手元にお配りしている意見・提案シートにご記入の上、事務局の方へ提出してください。本日はお疲れ様でした。以上をもちまして、第1回審議会を終了させていただきます。ありがとうございました。